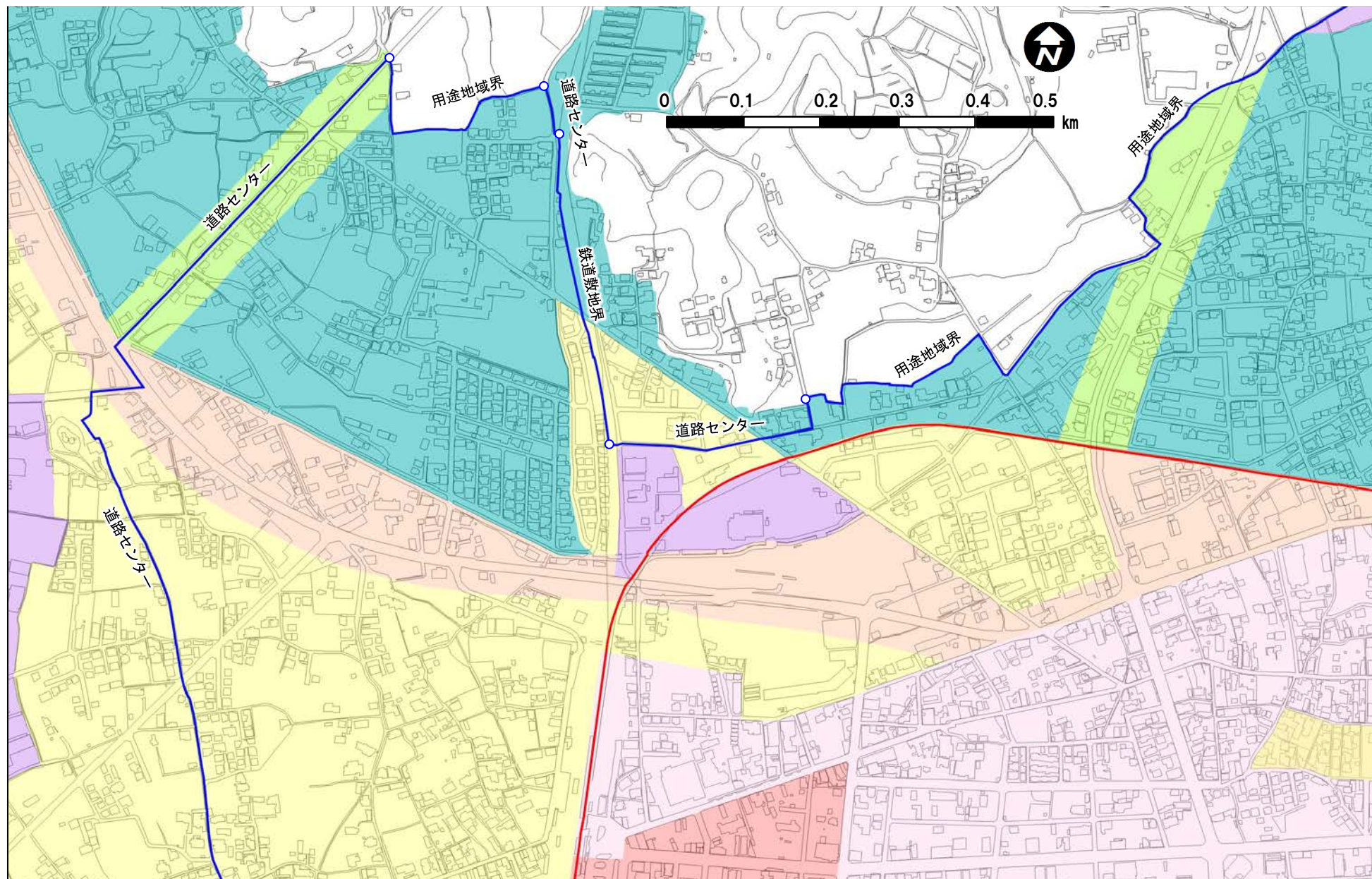
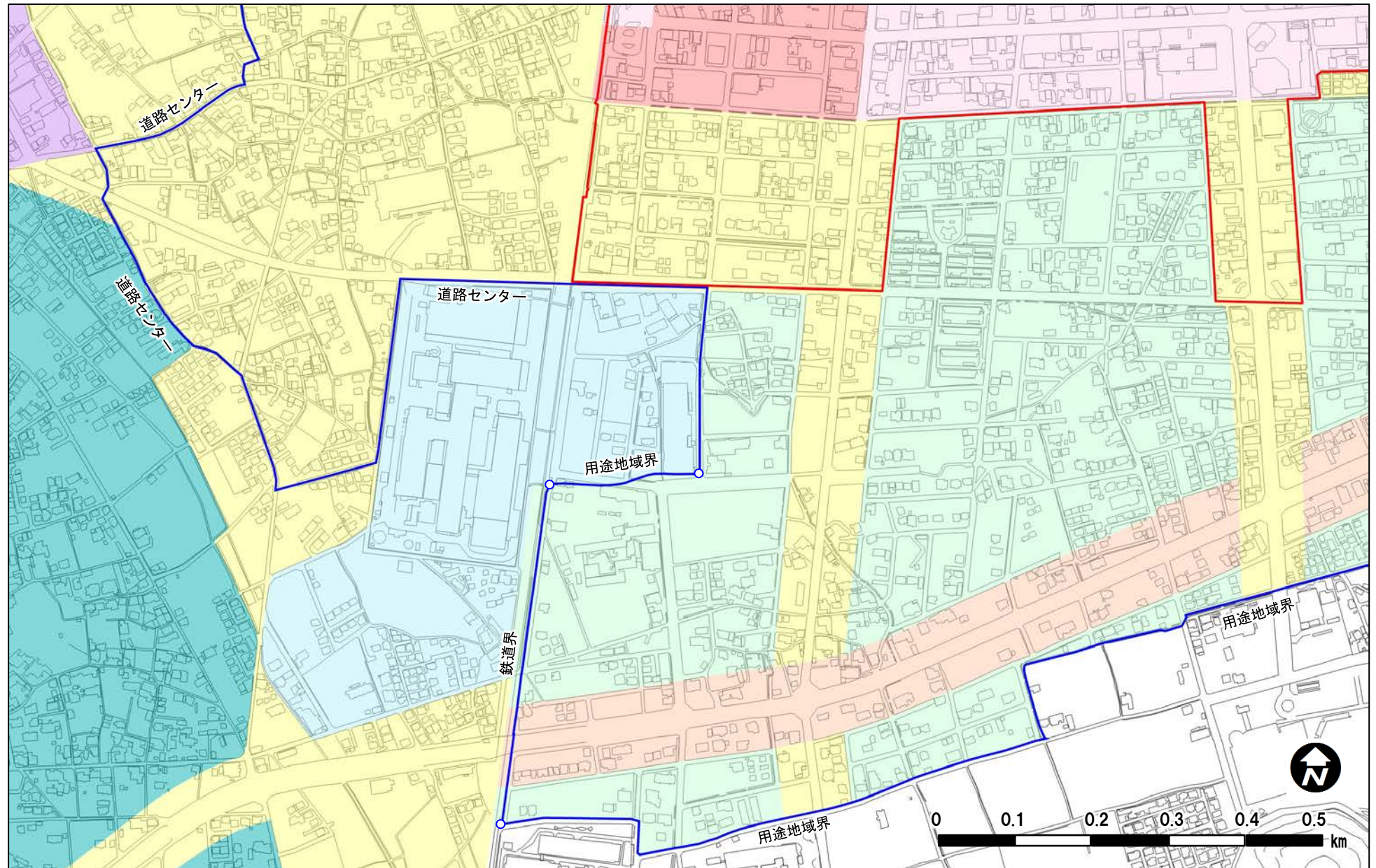


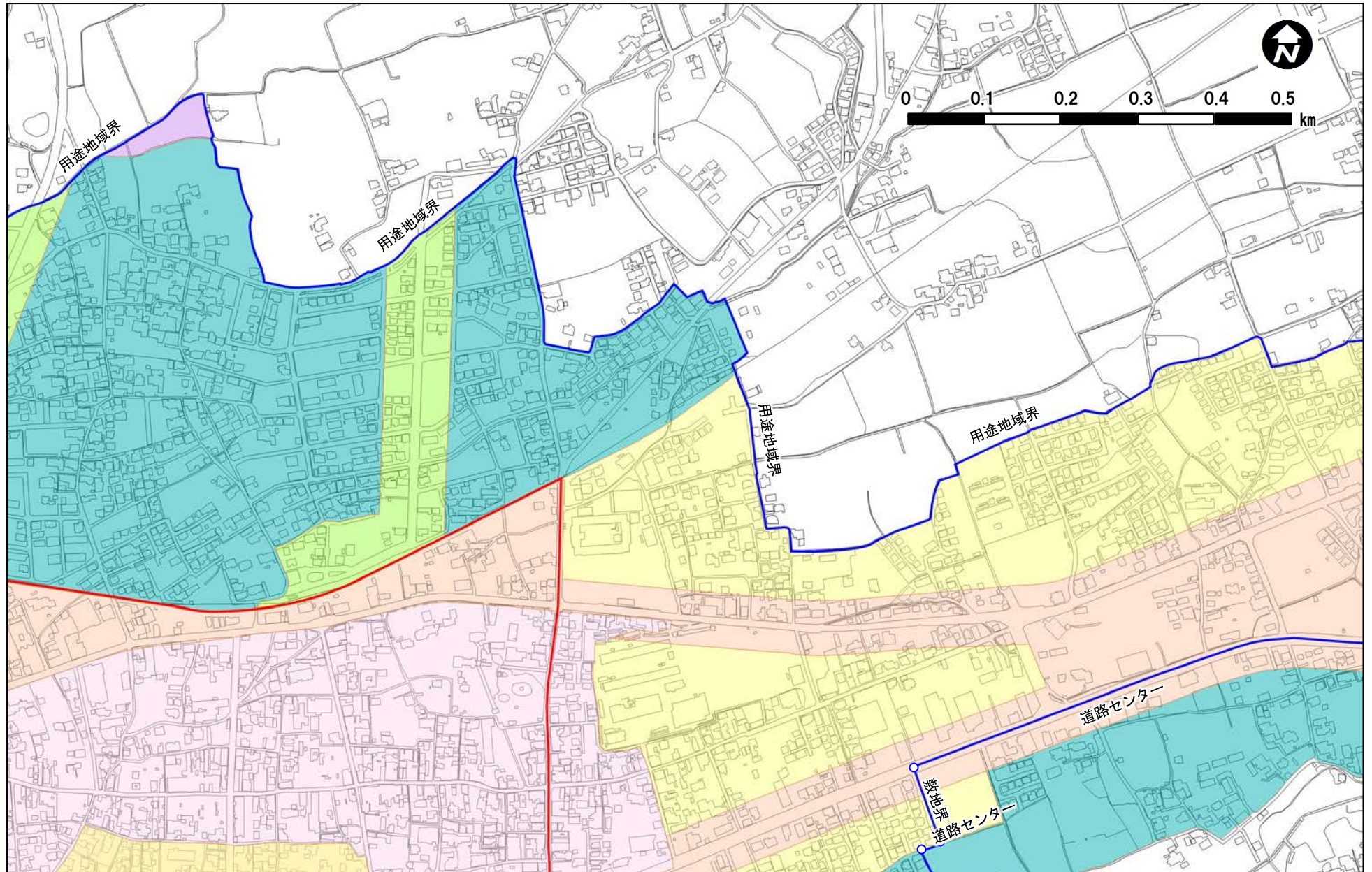
居住誘導区域の設定（詳細）



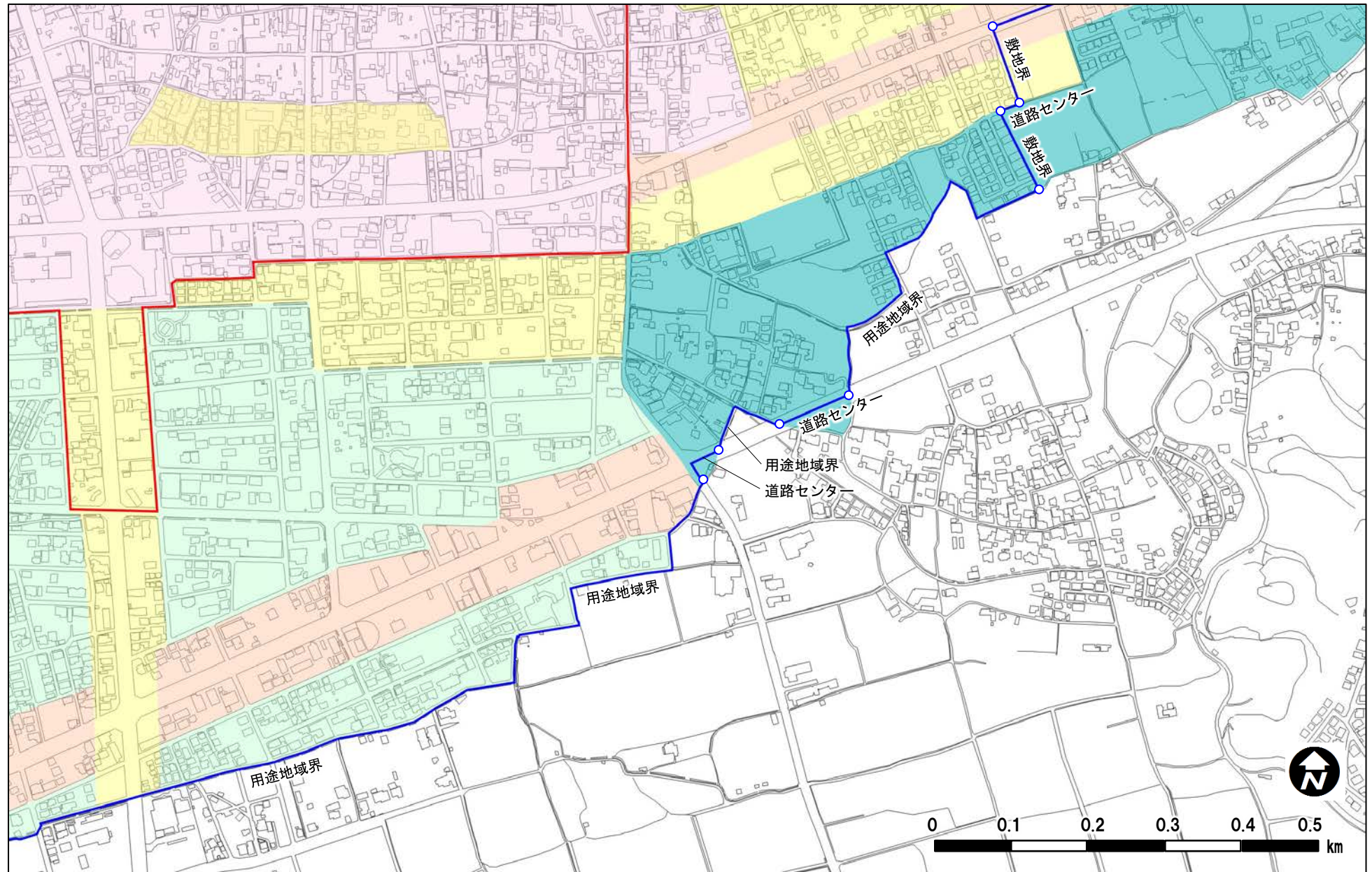
居住誘導区域の設定（詳細）



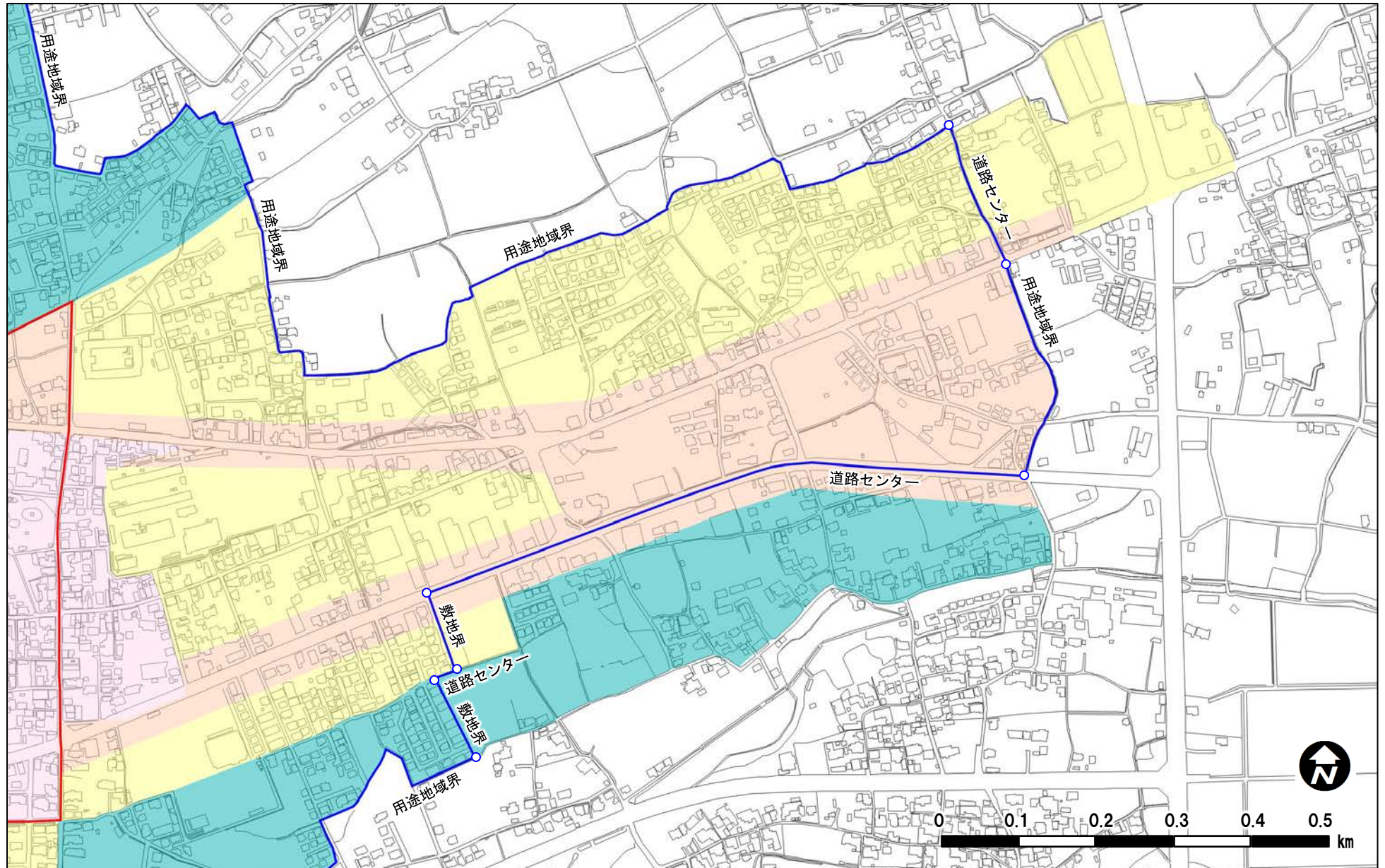
居住誘導区域の設定（詳細）



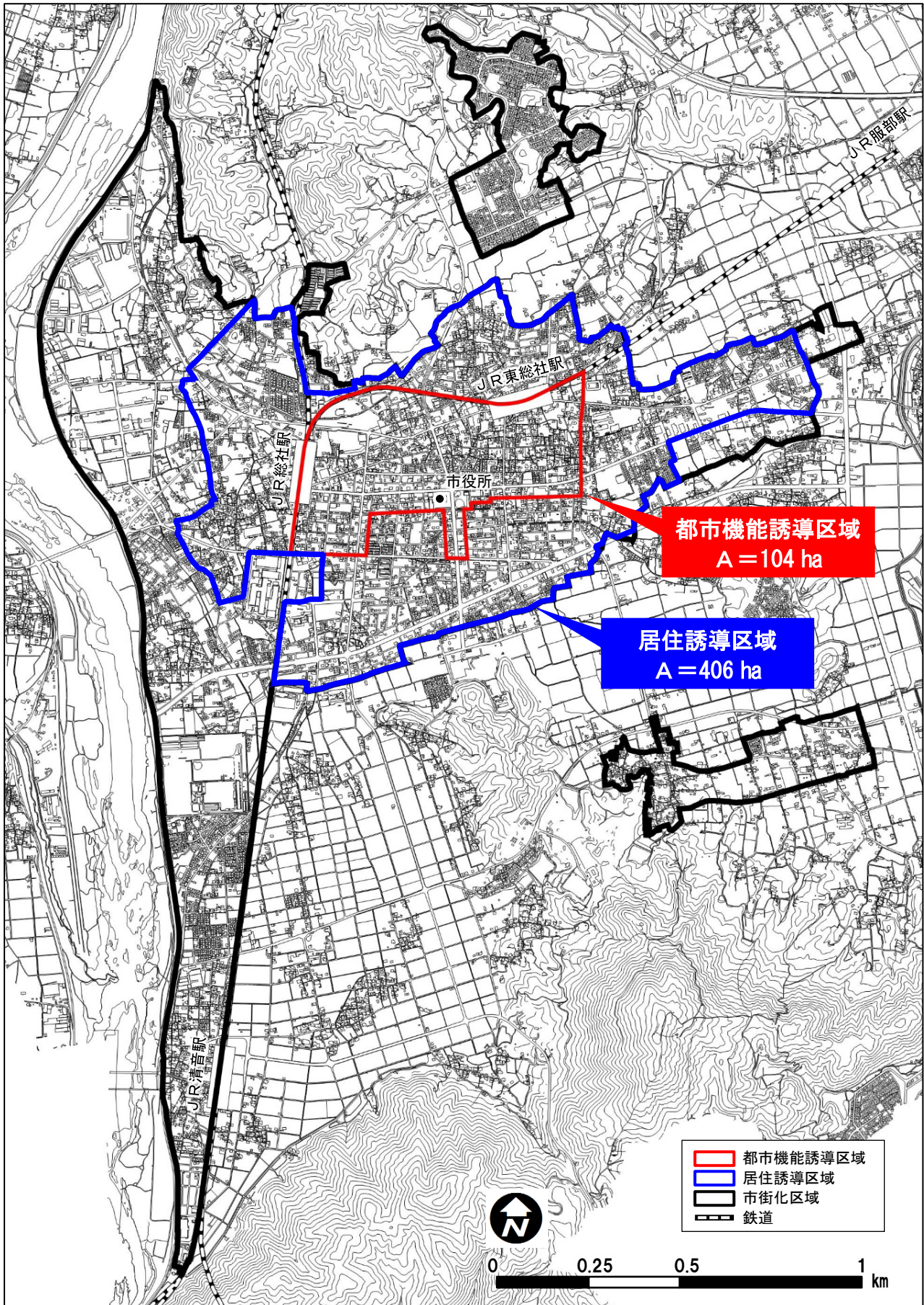
居住誘導区域の設定（詳細）



居住誘導区域の設定（詳細）



居住誘導区域の設定



5) 居住誘導区域の適正規模の検証

2010 年における居住誘導区域内の人口密度は 44.3 人/ha となっていますが、2040 年には、41.2 人/ha になると推計されています。人口減少下においても一定の生活サービス機能を有する利便性の高い市街地環境を維持するためには、現在の人口密度を将来においても維持していくことが必要です。

2040 年時点において、現在の居住誘導区域内人口密度を維持するには、居住誘導区域内の人口を国立社会保障・人口問題研究所の推計よりも 1,255 人増やすことになり、これは居住誘導区域外に居住する人口（37,679 人）の約 3.3% 程度に相当します。

このような推計結果や市街地中心部（商業系用途地域や土地区画整理事業が施行された第 2 種中高層住居専用地域）の人口が 2010 年よりも増加している実態等から、将来における居住誘導区域内の人口密度の維持は、現実的であると考えられます。

本計画では誘導施策の展開による転出人口の抑制や区域外から区域内への居住誘導の推進等を図ることで、この目標を目指していくものとします。

	人口	人口密度
2010(H22) 年	17,984 人	44.3 人/ha
2040 年	16,729 人	41.2 人/ha
増減数	-1,255 人	-3.1 人/ha

※居住誘導区域の面積は約 406ha

	居住誘導区域	居住誘導区域外	全市人口
2010(H22) 年 (国勢調査)	17,984 人 (27.2%)	48,217 人 (72.8%)	66,201 人 (100.0%)
2040 年 (国立社会保障・人口問題研究所)	16,729 人 (30.7%)	37,679 人 (69.3%)	54,408 人 (100.0%)
2040 年 (立地適正化による目標)	17,984 人 (33.1%)	36,424 人 (66.9%)	54,408 人 (100.0%)

現在の居住誘導区域内人口をキープ

①を実現するため、居住誘導区域からの転出を抑制するほか、居住誘導区域外から居住を誘導(1,255 人)

居住誘導区域の適性規模の検証

